

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月10日

上場会社名 福留ハム株式会社 上場取引所 東
コード番号 2291 URL 082-278-6161
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 福原 治彦
問合せ先責任者(役職名) 理事 経理部 部長(氏名) 深町 誠 (TEL) 082-278-6161
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,321	6.6	△79	—	△51	—	△37	—
2023年3月期第1四半期	5,930	△1.8	△75	—	△48	—	△59	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 85百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △108百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△11.34	—
2023年3月期第1四半期	△17.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,122	2,312	16.4
2023年3月期	13,706	2,227	16.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 2,311百万円 2023年3月期 2,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,800	5.7	△140	—	△110	—	330	—	98.89
通期	26,200	5.2	10	—	40	—	450	—	134.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	3,400,000株	2023年3月期	3,400,000株
2024年3月期1Q	63,092株	2023年3月期	63,050株
2024年3月期1Q	3,336,943株	2023年3月期1Q	3,336,975株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に引き下げられ、人流の拡大やインバウンド需要の活発化もあり、社会経済活動は緩やかに回復基調となりました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による影響は続き、外国為替相場における急速な円安進行やエネルギー価格、原材料価格の高止まりなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの上昇が企業収益を圧迫しており、景気の先行き不安からくる消費者の低価格・節約志向は一層厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や人手不足等による労働コストの上昇などの影響により、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、成長戦略構築と収益体質改善を最優先課題と位置づけ、「商品の競争力強化」、「営業力強化による販路拡大」、「業務の見直しによる収益構造改革」の三点に取り組み、これら重点施策の展開を実行してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、63億21百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。利益につきましては、営業損失は79百万円(前年同四半期は営業損失75百万円)、経常損失は51百万円(前年同四半期は経常損失48百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は37百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失59百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」移行に伴い、人流の拡大やインバウンド消費が活発化し、中食・外食需要の高まりから、業務筋や外食関連においてウイナー群の大袋商品が堅調に推移いたしました。また、価格改定に伴う販売価格の上昇もあり、売上高は増加いたしました。利益につきましては、同業他社との価格競争の激化に加え、原材料価格やエネルギーコスト等が上昇し、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は27億96百万円(前年同四半期比9.2%増)、セグメント利益(営業利益)は61百万円(前年同四半期比20.9%減)となりました。

食肉事業

牛肉におきましては、生活用品を中心とした度重なる値上げに起因する消費者の低価格・節約志向により、国産牛肉の高価格帯の販売が低調に推移いたしましたが、和牛から交雑牛への切替や利益が見込まれる内臓系の希少部位の仕入拡大と販売強化により利益は増加いたしました。輸入牛肉におきましても円安による輸入仕入コストの上昇等により取扱量が減り、売上高は減少したものの、利益率の高い販路に対し、集中した販売強化を図り、利益は増加いたしました。一方、豚肉におきましては、国産豚肉相場が高値で推移していることから、ブランド豚の販売強化による取扱量の拡大に取り組み、売上高は増加いたしました。さらには輸入豚肉におきましても、外食・中食等の業務筋に向けての冷凍商材の販売強化と販路の拡大に取り組み、売上高・利益とも増加いたしました。

その結果、売上高は35億24百万円(前年同四半期比4.6%増)、セグメント利益(営業利益)は8百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)16百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億15百万円増加の141億22百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億95百万円増加の64億43百万円となりました。主な要因は、商品及び製品1億35百万円と原材料及び貯蔵品1億8百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億19百万円増加の76億79百万円となりました。主な要因は、投資有価証券1億52百万円の増加と建物及び構築物32百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億30百万円増加の118億10百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億87百万円増加の77億74百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金3億1百万円とその他1億77百万円の増加および賞与引当金75百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ56百万円減少の40億36百万円となりました。主な要因は、長期未払金3億28百万円の増加と役員退職慰労引当金3億56百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ85百万円増加の23億12百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金1億21百万円の増加と利益剰余金37百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表したのから修正いたしました。詳細は本日別途公表いたしました「特別利益(投資有価証券売却益)計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,319	2,330
受取手形及び売掛金	2,584	2,605
商品及び製品	967	1,103
仕掛品	39	47
原材料及び貯蔵品	214	323
その他	40	50
貸倒引当金	△18	△16
流動資産合計	6,147	6,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,177	2,145
機械装置及び運搬具（純額）	714	719
土地	2,247	2,247
リース資産（純額）	73	70
建設仮勘定	-	4
その他	45	51
有形固定資産合計	5,258	5,237
無形固定資産	99	93
投資その他の資産		
投資有価証券	1,995	2,147
その他	304	298
貸倒引当金	△98	△97
投資その他の資産合計	2,201	2,348
固定資産合計	7,559	7,679
資産合計	13,706	14,122

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,190	2,491
短期借入金	4,253	4,253
未払法人税等	46	29
賞与引当金	154	78
その他	742	920
流動負債合計	7,387	7,774
固定負債		
長期借入金	1,951	1,863
役員退職慰労引当金	356	-
退職給付に係る負債	1,445	1,460
長期未払金	-	328
その他	338	383
固定負債合計	4,092	4,036
負債合計	11,479	11,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	△2,451	△2,489
自己株式	△81	△81
株主資本合計	1,662	1,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555	676
退職給付に係る調整累計額	8	9
その他の包括利益累計額合計	563	686
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,227	2,312
負債純資産合計	13,706	14,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	5,930	6,321
売上原価	4,956	5,324
売上総利益	973	996
販売費及び一般管理費	1,049	1,075
営業損失(△)	△75	△79
営業外収益		
受取利息及び配当金	24	26
不動産賃貸料	13	13
その他	12	12
営業外収益合計	51	53
営業外費用		
支払利息	16	17
不動産賃貸費用	6	7
その他	0	0
営業外費用合計	23	25
経常損失(△)	△48	△51
特別利益		
投資有価証券売却益	-	31
特別利益合計	-	31
税金等調整前四半期純損失(△)	△48	△19
法人税、住民税及び事業税	11	17
法人税等合計	11	17
四半期純損失(△)	△59	△37
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△59	△37

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△59	△37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	121
退職給付に係る調整額	6	1
その他の包括利益合計	△49	123
四半期包括利益	△108	85
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108	85
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,562	3,368	5,930
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,562	3,368	5,930
セグメント利益又は損失(△)	77	△16	60

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	60
全社費用(注)	△136
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△75

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,796	3,524	6,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,796	3,524	6,321
セグメント利益又は損失(△)	61	8	69

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	69
全社費用(注)	△148
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△79

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2023年7月15日開催の取締役会にて保有する投資有価証券の一部を売却することを決議いたしました。これにより、2024年3月期第2四半期連結会計期間において投資有価証券売却益（特別利益）を計上する予定であります。

1. 投資有価証券売却の理由

政策保有株式の見直しによる資本効率の向上を図るため

2. 投資有価証券売却の内容

- (1) 売却株式 当社保有の上場株式 4銘柄
- (2) 売却時期 2023年7月26日～8月28日（予定）
- (3) 売却益 約470百万円（2023年7月14日の時価ベースでの概算）